

私のブログ活用法

近藤正臣公認会計士事務所
所長 近藤正臣

ブログを始めたきっかけ

独立開業を目標として辛い会計士受験時代を乗り越えた私の前に立ちほだかっていた大きな壁。それは「営業力がない」ということ。

監査法人勤務時代は、私自身が何者であろうと「監査法人」の看板を背負っているだけで仕事と信頼を得ることができません。けれど私個人では何ができるのだろうか？ 残念ながら私は口下手。お世辞も調子のいいことも嘘も言えない人間。バリバリの営業マンを友人に持つ私は「彼のようなタイプでなければ独立してもお客は取れないだろうな」、そう考え独立するという夢を諦めかけていたのです。

そんな私に転機が訪れたのは平成17年の秋頃でした。それまでは漠然と「独立したいけど…でもなあ」と思っていた私ですが、「一度真剣に独立することを考えてみよう！」と奮起したのです。さっそく情報収集のためにインターネットで検索をしていると、気になるブログを見つけたのです。そのブログには自分が探していた情報のほかにも、興味をそそられる記事がたくさん載っ

ていました。そのブログを読み進めるうちにブログを書いている人にも興味湧き、会ってもいない言葉も交わしていないその人に対して信頼感や親近感のようなものを覚えたのです。そのとき「これが営業ツールになるかも！これなら出来る！」と目の前のモヤモヤが晴れたような気がしたのです。

独立開業準備

幸いにもプライベートでブログを書いていた時期があったので、ブログは自分にとってとても身近な存在。コネもなければ実績もない私でもブログを通じてたくさんの人に「自分を知らせてもらう」ことができる。私を感じたようにブログを読んだ方が自分に興味をもってくれるのではないかと期待したのです。しかし、ブログ開設当初は監査法人に勤務していたため独立開業に向けての準備活動しかネタがありません。

東京でのセミナーに参加したことや、すでに独立開業している先輩に話を聞きに行ったことなどを記事にしてみました。税理士事務所を探している方がこの記事を読んで果たして興味を持

ってくれるのだろうか？ これを読んでいるのは同業の独立予備軍だけなのでは？ という疑問が膨らんできました。しかし、後日談ですが、契約を終えたお客様に当事務所を選んだ理由をうかがったときに、「自分も独立に向けてがんばってきたから、同じように独立を目指してがんばっているブログの記事に共感した」という回答をいただきました。開業準備の記事は無駄ではなかったのだと嬉しく思いました。

税金の解説

さて、独立準備の記事をブログに載せることに疑問を感じ始めた私は、次に税金の連載を始めました。確定申告の時期が迫っていたので、所得税の解説の記事にしていけば、検索キーワードにひっかかり同業者や友人知人以外にブログを読んでもらえるのではないかと考えたからです。また、これは自分自身の勉強のためであると同時に、将来ホームページを開設した時に記事として載せるための下準備として役立ちました。

税金の連載はブログ上では営業ツールとして有効ではなかったようですが、

同じ記事をホームページ上で掲載したところ、お客様から「わかりやすい説明がされていたので安心してお願いできるといった」というお言葉をいただきました。

形のないものを提供する商売

同じ商品を買うのであれば、少しでも安いところを探すのが顧客心理だと思います。しかし、税理士業は同じ言葉を使っても内容やサービスなどが事務所によって様々です。契約するまで、内容がわからず他と比較することが難しい。それではお客様は何を決め手にされるのでしょうか。やはり一番は信頼できる人からの紹介だと思います。ただ、会社の内容を知られたくないから縁もゆかりもない税理士に頼みたい方、紹介してくれるような知り合いがいらない方もおられるので、その方たちはインターネットを利用して税理士を探すことが多いはずです。ブログよりもホームページの方が集客という面では勝っていると私は思います。ホームページ上では伝えきれないことをブログでは伝えることができます。どんな業種を扱っているのか、どんな

アドバイスやサポートを実際にしてくれるのか、実務の様子の記事です。お客様もイメージしやすいと思います。もちろん守秘義務がありますので、限度はありますが…。

税理士は業務内容上、一度お付き合いが始まると長いお付き合いになることが多い仕事です。お客様も価格面で折り合いがつけばあとは人間性を重視しているようです。そのためブログを見てからお問い合わせいただいたお客

「税務会計系ブロガーサミット」サイト
<http://blog.livedoor.jp/akirakokimura/>



近藤正臣(こんどうまさふみ)

公認会計士・税理士。近藤正臣公認会計士事務所 所長。

1974年三重県いなべ市生まれ。1997年に名古屋大学経済学部を卒業後、監査法人伊東会計事務所(現 あずさ監査法人)に入所。

2006年までの約9年間、上場企業の財務諸表監査に従事したほか、上場を目指す会社を支援する「株式公開支援業務」や、米国企業改革法に基づく内部統制構築アドバイザー業務、財務デューデリジェンス業務にも従事。

2006年に名古屋で近藤正臣公認会計士事務所を開業。

主に中小企業の税務顧問を務める他、起業家支援、事業計画策定支援、資金調達支援を中心に活動している。

事務所HP <http://www.kondo39.com/>

ブログ「名古屋的会計士のブログ」<http://nagoyacpa.livedoor.biz/>



様は最初の面談のときであっても、会話がはずむことが多く、成約率が高いと私は感じます。

ブログのデメリット

ブログのメリットばかりを書いてきましたが、もちろんデメリットもあります。会話であれば声の大きさやテンポ、顔の表情などで言葉以上の表現をすることができますが、文章にするとうまく伝わらない部分もあります。自分の意図とは違うかたちで読み手に捉えられてしまう可能性も否定できません。また、ブログは自分が書いた文章を読み返し修正することができません。そのため本来の自分とは違った、つくられた部分が出てくることもあるのではないのでしょうか。ブログを読んでもらって面談を行ったお客様の中には、実際に会ってみたら想像していた人と違うと感じられた方ももちろんいるはずですよ。印象がプラスからマイナスに転じると、その人に対する評価は通常よりも低くなるそうなので、ブログと本人にギャップが生じないように記事の内容や文体には気をつけています。

ブログを書く意味を改めて考える

ブログを開始してもうすぐ2年になりますが、常にブログの位置づけについては悩み続けています。どういう内容を書いていくか、何のために書くか、誰に見てもらおうのか。

ただ、事務所にお問い合わせをいただいた時に、「ブログを見て行動的な人だと思ったので電話してみました」などと言われることも多々ありますので、

やはりブログの存在は重要だと思えます。ホームページだけでもいけないし、ブログだけでもいけない。両方やることによって、相乗効果が生まれるのだというのは紛れもない事実です。

現在、「名古屋的会計士のブログ」は約2カ月間休止中ですが、ここで気持ちを切り替えて別のブログを新たに始めることも視野に入れて、何らかの形でブログは続けていきたいと考えています。

